

**公益財団法人大河内記念会**  
**令和元年度事業報告書**

(令和元年4月1日から令和2年3月31日まで)

当会は、生産のための科学技術の振興を目的として、従来に引き続き、その事業の根幹をなす大河内賞の表彰事業を次のとおり実施した。

1. 表彰事業

(1) 大河内賞贈呈

大河内賞審査委員会(大学教授等20名の委員により構成)は、産業団体、学協会、大学、研究機関等から推薦された第66回(令和元年度)大河内賞受賞候補業績について、書類審査、業績内容に関するヒアリングおよび当該業績の製造現場等の実地調査による審査選考を行った。最終的に同委員会により6件が選定され、当会理事会の議を経て、令和2年3月24日に次のとおり大河内賞を贈呈した。受賞業績題目等は、別紙1のとおりである。

大河内記念賞(賞状、メダル、副賞金100万円) .....	1件
大河内記念生産特賞(賞状、大型賞牌) .....	1件
大河内記念技術賞(賞状、メダル、副賞金30万円) .....	0件
<u>大河内記念生産賞(賞状、賞牌) .....</u>	<u>4件</u>
合 計	6件

なお、大河内賞贈呈式典については、新型コロナウイルス感染拡大防止に鑑み、受賞者および出席者の健康と安全を第一として急遽中止とした。

(2) 受賞業績報告書等の発行

第65回(平成30年度)大河内賞受賞業績の技術内容を掲載した「大河内賞受賞業績報告書」を発行して、国内の理工系大学、研究開発機関、学協会、産業団体、企業、賛助会員等に配布した。このほか、大河内記念会の事業活動の内容や関連の産業技術関係記事等を掲載する機関誌「五兆」を発行し、上記報告書同様関係各方面に配布した。

(3) 見学会等

受賞業績に係るフォローアップに関連して、大河内賞受賞者、当会賛助会員等を交えて「生産のための科学技術」に関する見学会等を大河内賞の受賞事業体等の協力を得て開催した。本年度は、令和元年11月7日に、第65回(平成30年度)大河内記念生産特賞受賞の業績に関し、日野自動車(株)古河工場において、18名の参加のもと工場施設の見学会等を開催した。

2. その他

当記念会の表彰事業の充実及び当該事業に係る財政基盤の強化を図るため、従来に引き続き賛助会員の募集等を行った。

以上